

久我山だより

令和5年9月29日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

学力調査の結果より

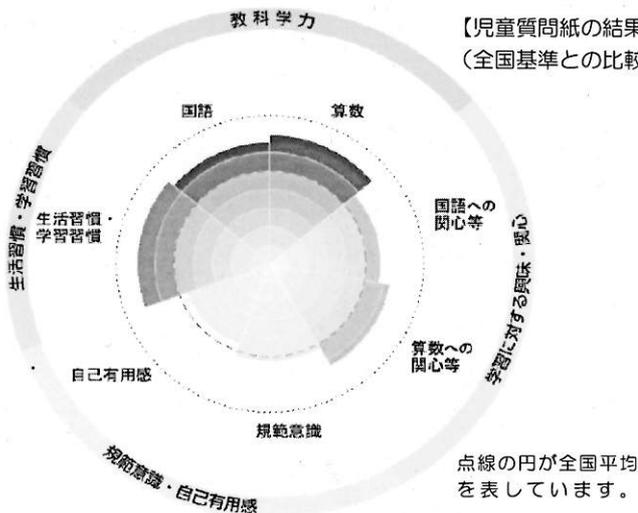
主幹教諭 細田 嘉子

「令和5年度全国学力・学習状況調査」の結果がきました。これは毎年、6年生を対象として実施されている国の調査です。(4月18日実施)

【学力調査の結果】

国語	児童数	平均正答数	平均正答率
本校	84	11.0/14	78
東京都(公立)	92171	9.7/14	69
全国(公立)	964177	9.4/14	67.2

算数	児童数	平均正答数	平均正答率
本校	84	12.5/16	78
東京都(公立)	92209	10.7/16	67
全国(公立)	964350	10.0/16	62.5

【児童質問紙の結果】
(全国基準との比較)

この調査結果から、本校6年生の国語・算数における教科学力は、高い水準にあると考えられます。

一方で、同時に実施された「学習に対する興味・関心」、「規範意識・自己有用感」、「生活習慣・学習習慣」における調査の結果が下のグラフです。ここで、気になるのが「自己有用感」においては、国の平均を下回っていることです。(都の比較でも同様でした)

基礎、基本を身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考える力である「確かな学力」を確かなものとするには、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」とともに、「学びに向かう力、人間性」がバランスよく育成されていることが重要です。学校における教育活動も、上記の3つの柱となる資質・能力を伸ばすために、日々取り組んでいます。

他者から認められることで、子どもたちの「自己有用感」は伸びると言われています。また、点数では見えない、一人一人のよさ(感性、思いやりなど)を認めることは、「学びに向かう力」の伸長につながると言われています。

教科学力は大切です。目に見えて、結果が分かりやすいです。しかし、それに偏重することなく、子どもたちの目に見えない力を、家庭・地域・学校で、ともに育んでいきたいと考えています。

10月の生活目標

気持ちのよいあいさつをしよう

ようやく暑さも和らぎ、気持ちのよい季節になりました。秋はスポーツの秋、勉学の秋、読書の秋などと表現されるように気候的にも過ごしやすく、色々なことに取り組みやすい時期です。

本校では、休み時間は基本的に校庭で元気よく遊ぶこととなっています。涼しくなり、外で運動するにはちょうどよい季節です。休み時間には、しっかりと遊ぶことで、授業と休み時間とを区別し、けじめを付けられるように指導をします。

(生活指導委員会 川島 美菜子)